



## 第23回

### 地域おこし協力隊が行く！

# 実は隣のスゴイ人



【今回のスゴイ人】

徳増 徳雄 さん

曾於市内のスゴイ人にスゴイ人を紹介してもらうこのコーナー。前回のスゴイ人、福岡さんにご紹介いただいたこの方は、「自分も通っている木彫り教室の先生。もう 90 歳近いのに本当お元気でスゴイ人」とのことです。インタビュアーは、三浦恭子でお届けします。



「もういいか」と終わらせるのではなく、細部まで、最後までこだわる姿勢、教えていただきました。最後は「満足するためには苦勞をしないと。最後の最後まで頑張ることで自分もだけど、まわりからの価値も変わるからね」

「最初のキツカケは、氏神様のお面をつくったこと。うちの地域には氏神様がいらっしゃるんだけど、お祭りの時に出していた面がなくなってしまっただけで、残念だとずっと言っていたから、じゃあ自分が作ろう」と

「最初は、徳増さんは20年以上曾於市総合大学の木彫り講座の先生もしています。「受講生の人たちがシルバークラフトに出展して、入賞することが一番嬉しい」と話す徳増さん。生徒さんが「これで完成」と持ってきても「もっとこうした方が良くなる」とリメイクを出すこともあるそう。

今回は、末吉町にお住まいの徳増さんのご自宅にお伺いしました。上の写真で分かる通り、木彫りの面や仏像などたくさんある作品がズラ〜と！なんと数えて御年89歳ですが、農業をしながら今なお精力的に木彫りをしています。

## 協力隊の活動報告

県が主催する「鹿児島県内地域おこし協力隊ネットワーク会議」に参加してきました。これは県内にいる協力隊員が一堂に会し、他の地域の事例を聞いたり、ワークショップを行うというもの。この日の講師は、兵庫県尾鷲市 夢古道おわせ支配人である伊東さん。面白い話がたくさんありましたが、中でもわたしの胸に響いたのは《何をみて、誰と会って、何を食べて、何を感じないと、この町に来たといえないか、を考え続ける》ということ。この《何》を埋めていくことが地域おこしなのかなと考えさせられました。会議のあとは「のんかた」。どのテーブルも地域の自慢話や苦勞話など話題は尽きず！ わたしも心強い仲間がたくさんいることを実感したよか晩でした。



2018年3月20日

三浦恭子